

滝田医院ニュース 第42号

〒022-0001 大船渡市末崎町字平林75-1 滝田医院 電話0192-29-3108
内科(循環器、呼吸器、消化器)

院長 滝田有(たきた たもつ):医学博士・日本内科学会認定総合内科専門医・日本循環器学会認定循環器専門医



FMねまらいん

(87.5MHz)を
聴きましょう。「けせん町
の保健室」が提供するラ
ジオ番組の健康情報コー
ナーに院長も協力してい
ます。正確で興味深い情
報を皆さんにお届けした
く思っています。ウソが
多いテレビを視るより健
康情報はFMラジオを聴
きましょう!

- 当院は「予約優先制」です。定期受診の方はなるべく予約してください。待ち時間が少なくなります。もちろん急病の方は予約なくとも受診できます。当日の予約は出来ません。前日までは電話予約も可能です。
- 臨時休診のお知らせ:4月5日(土)、4月12日(土)は休診とします。県医師会理事会ならびに日本内科学会出席のためです。ご了承ください。**

おかげさまで 開業・満11年

平成15(2003)年4月1日、JR細浦駅前にて滝田医院が開業しました。以来紆余曲折はありましたが、皆様のおかげで、ここ平林の地で満11年を迎えることが出来ました。

平成20(2008)年1月のクモ膜下出血では一時診療不能となりましたが、東北大学循環器内科の支援を貰って乗り切りました。2回の開頭手術を経て現在は体調良好です。ただし年一回仙台の脳専門病院である広南病院を受診し、新たな脳動脈瘤が形成されないかどうか気を配っていますし、仙台市内の開業医から降圧剤その他の治療を受けています。

平成23(2011)年3月の大津波でも九死に一生を得ましたが、細浦駅前の当院建物は全壊しました。さらに

開業以来同じメンバーだった職員のうち2人が転居に伴い退職しました。

さらに平成24(2012)年4月気仙医師会会長となり業務が多忙になっています。建物は岩手県から借りているプレハブの仮設のままですし、臨時休診も増えています。自院の事だけでなく気仙全般の医療の行く末や介護との連携にも気を配らねばなりません。その一環として「未来かなえ協議会」の仕事をしています。去る3月15日盛町カメリアホールにて復興庁小泉進次郎政務官を招き講演会も行いました。自分自身の体調を維持しながら、諸業務も滞りなく行いたいと思います。そのためにも定期受診の患者さんには予約制にご協力をお願いします。

目次:

開業満11年	1
	
コイズミ会談	1
風邪薬	2
安部さん歓迎会	2
医学部新設問題	2

●<http://takita.webmipr.jp/>

●保険診療は必ず診察が必要です。これは法律で決まっています。毎回薬だけでは困ります。

スズロさん(小泉進次郎氏)と会談!

3月15日の未来かなえ協議会主催の講演会に先立ち、小泉進次郎復興政務官と気仙医師会館にて40分間の会談を行いました。医療を中心に被災地の課題をお話しました。勿論話す力は非常なものをもちますが、人から話を引き出す「聴く力」も十二分にお持ちの方だと思いました。



「風邪薬」って何？

風邪を治すのか開業医の大事な仕事です。風邪を治すには薬が必要です。では風邪薬って何でしょう？

風邪は一般にウイルス性の上気道感染を指します。そのため症状としては咽頭痛、鼻水、鼻閉、咳、発熱などが見られます。しかし実は風邪ウイルスを直接攻撃する薬はないのです。(インフルエンザを除く)それでは医者処方する薬は何なのか？それは消炎鎮痛剤や抗アレルギー剤などなのです。つまり整形外

科から関節の痛みに対してもらっている鎮痛剤や、耳鼻科などから花粉症のためにもらう、または皮膚科から蕁麻疹のためにもらう抗アレルギー剤などと種類が同じなのです。内科の医者は他科の薬と重複を避けねばなりません。だからこそ、なぜ受診の際には「お薬手帳」を持ってくるか、他の医者からもらっている薬を教えてください。



居場所ハウス外観

安部白道さん歓迎会 居場所ハウスで開く

未来かなえ協議会の医療介護連携コーディネーターの安部白道(あべはくどう)さんの歓迎会を3月30日(日)午後4時から平林地内の居場所ハウスにおいて当院主催で開催しました。

安部さんは、生命保険会社を勤め上げた後、宮城福島両県の仮設住宅の支援事業を行ったり、さわやか財団の一員として末崎町の支援にも来てくれたりした方です。医療や介護にも詳しく、未来かなえ協議会の医療連携コンピューターシステムの立ち上げや介護人材の養成事業など着々と準備

を行って来ています。末崎町の大田仮設住宅に単身で住まわれています。

末崎公民館長、大田仮設の自治会長をはじめ、細浦町内会の方々、滝田家一統で仮設のお住まいの方々など総勢30人が雨にもかかわらず集まっていただきました。おいしいお酒やお弁当、安部さん差し入れのソーセージなどいただきながら、皆で楽しい夜を過ごしました。

安部さんの今後の活躍に期待します！



3.15講演会での安部さん(総合司会)

医学部新設問題

東北の被災地に医学部を新設する問題は宮城県の村井知事の安倍総理への直の訴えかけにより実現へ大きく踏み出したように見えます。しかし文科省の否定的意向も見え隠れしています。何よりも被災3県の医師会、既存医学部が猛反対しています。昨年岩手県医師会理事会でも新設反対の決議がなされました。私はその場で「被災地の立場では新設

宮城県知事へ提言

は賛成である」意思表示をしました。また東北大学医学部同窓会である艮陵会(ごんりょうかい)の会誌にも寄稿したところ、いろいろなOBから賛意を貰いました。今回村井知事に書簡を送り艮陵会雑誌の別刷も同封しました。今後の村井知事の行動に期待します！

ちなみに拙稿は日医の横倉会長、岩手県医の石川会長にも献呈しています。



かなえ(鼎)